



令和8（2026）年4月28日

## 校長だより Vol.2

### 「同じ星を見て歩いていきましょう！R8②」 ～新しい景色を、共に創る～

新緑が目に見鮮やかな季節となりました。 新入生を迎え、怒濤のように過ぎ去った一ヶ月でしたね。先生方の懇切丁寧な御指導の数々に感謝申し上げます。ありがとうございます。

公立高校を取り巻く環境は、かつてない激動の中にあります。授業料無償化の波や生徒数の減少という「逆風」を真正面から受けた入試を経て、私たちの目の前には、例年以上に多様な個性を持ち、多様な支援を必要とする生徒たちが集うことになりました。現在の公立高校に求められている「多様性（ダイバーシティ）と包摂（インクルージョン）」のリアルな実態であり、私たち教員に、今後より求められるスキル（能力）だということになります。

3月の選抜会議では、『清水西高校のステイタスの担保は・・・』という御意見がありました。

しかし、私たち教員自身が異口同音に、『これが清水西高校のステイタスです。』と自信をもって答えられませんでした。 私たちは何を（根拠に）もって、『清水西高校の生徒』と捉えているのでしょうか。

### ～スクールミッション、スクールポリシーに基づいた教育活動を実践すること～

本校の学校経営計画書にあるスクールミッションです。

文化発信の拠点として発展してきた歴史と伝統を誇る普通科高校として、校訓「清く けだかく 美しく」の理念のもと、自立心と社会性を身につけ、高い志を持って行動する、心豊かで地域の未来を創生するグローバルリーダーの育成を目指す。

スクールポリシーの **アドミッションポリシー（入学して欲しい生徒の像）** は、



- ・学習や諸活動に真剣に取り組んでいる生徒
- ・自らの将来や地域のことを考えている生徒
- ・郷土を愛し地域の看護・医療に関心のある生徒



**グラデュエーションポリシー（卒業するまでに、身に付けさせたい力）** は、

- ・自ら課題を設定し、考え学び続ける生徒（探究力）
- ・道徳性、社会性、協働する力を備え、豊かな人間関係を築くことができる生徒（人間関係構築力）
- ・地域の素晴らしさを理解し、未来を創生できる生徒（地域貢献力）

『西高生はこうあってほしい。』という姿（像）は、私たちの中にハッキリと共有されているのでしょうか。

**カリキュラムポリシー（上記の2ポリシーを具現化するための教育課程）** には、こうあります。

- ・グローバルリーダーの育成（総合探究「ともえタイム」）
- ・特色あるカリキュラムの構築（1年次からの特進コース、看護医療進学コース）
- ・ボランティア活動の充実

学校運営協議会の委員の方々からの御意見や御要望を真摯に受け止め、運営委員の先生方を中心として、柱（合言葉といっても良いでしょう）となる取組目標を決め、成果目標を立て、その具現化のための達成





方法（取組手段）を数値で表すなど、文言等を含めて精査してきました。

私たちの日々の教育活動は、まさにこのスクールミッションとスクールポリシーに連動しています。先生方は、学校経営計画書をよく理解して、「自己目標シート」を作成し、「人事評価シート」で自己評価し、評価者である私たち管理職が、授業参観や勤務実態等を勘案して評価させていただいています。つまり、学校経営計画書に基づいて、各々の能力を最大限に発揮してもらう教育活動でなければ、『同じ星を見て歩いて行きましょう！』にはならないし、評価に反映されることもありません。



～「礼儀正しい挨拶」がキチンと身に付いた学校～

令和8年度版は、スクールポリシー具現化の柱として、**礼儀正しい挨拶を基本とし**、を加筆しました。『あたりまえ』のレベルの話は、以前もお話ししたとおりですが、先生方は、『**礼儀正しい挨拶**』をどのようにお考えでしょうか。 私たちが目指すのは、生徒たちの「**幸福**」に他なりません。

「**幸福**」とは単に進路実績等の数字的なものだけを指すのではなく、生徒が西高で「自分は受け入れられている」と感じ、西高のスタンダード（基準）が、外で立派に通用していると感じることです。あてにされていること、何処でも通用することを自覚することで自己肯定感や自己有用感が高まります。生徒一人一人が、西高で輝いている。西高の外にいる時こそ、しっかり真価を発揮できる。自分も西高の価値も高める（『未見の我』に出会う）チャレンジができる生徒の育成は私たちの使命です。だからこそ、**生きる基本である『挨拶』**が、他者を尊重し、TPOに合ったものとして身に付く（ごく自然にできる）まで、どんな生徒に対しても根気強く御指導ください。引き続きお願いします。



～新しい景色（ステイタス）を、共に創る～

生徒に身につけさせたい『**生きる力**』（本校では、**知力・体力・心力**）は、学力はもちろんですが、身だしなみ（着こなし、髪型）、ふるまい（前述のあいさつをはじめ、言葉遣いや態度や行動）等がそうであるならば、私たちの関り方（授業・クラス運営、部活動等）はとても重要です。

守破離

西高の生徒をどんな姿まで到達させたいのか。私たちの日常に、そうした建設的な議論は不可欠です。『守・破・離』（R7 校長だより Vol.2）で御紹介したように、まずは**教えを徹底的に守り**、それを相対化しながら**研究を深めることで型を破り**、そのうえで師（先生の教え）から**離れて自在の境地に立たせる**。『叱り上手』な方は、『褒め上手』の話（R7 校長だより Vol.13）を参照してください。プロセス（過程）をよく見て、自立・自走できる生徒を育成する。同時に、レジリエンス（精神的回復力）が高い人間の育成を！！

～制服ではない時（学校以外）ほど、高く評価される学校～

以前お話ししたとおり、高校はクラス担任がクラスの生徒を一日中掌握できる環境にありません。「**授業担当者**」ではなく、「**授業担任**」として全教職員が関わる（**「伝説のドアマン」になる**）ことで、日々の関りの中で、**教えて、考えさせて、型を破り、自立して離れていける**ように、引き続き御指導ください。



「**授業づくり**」は「**人づくり**」 「**人づくり**」は「**授業づくり**」です。

**みなさんは『授業担任』です。**生徒の学校生活の7～8割は授業です。改めて授業を大切にしましょう。連休を挟み、いよいよ教育活動が本格化します。多様であることは、豊かであること。この多様性の輝きを本校の力に変えていけるよう、これからも手を取り合い、一歩ずつ共に歩いていきましょう。

なにはともあれ、一か月間本当にお疲れさまでした。 ゴールデンウィークには、リフレッシュを！

